



1. 無農薬、有機栽培ですヨ、と表示してある時、私達は「ん？」と疑って
みます。低農薬使用は、まだまだ良心的です。有機農業が、どんなに、手間
ひまをかけるか、大農場で作れないか、チョット、メモしてみましょうネ。

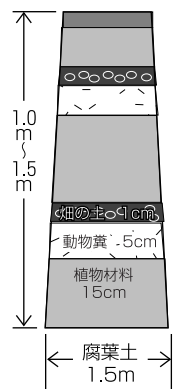
2. 肥料作りが原点です。沢山の方法がありますが、今回、鹿児島県でもっ
とも早く有機農業の取り組まれた園山国光氏の著書から引用してみます（昭
和55年9月初版）1980年

3. 材料（ハワード法）
植物材料（山の落葉、腐葉土に近いもの）.....15cm
動物糞（良質の牛糞、鶏糞）.....5cm
畑の土1cm

以上をくりかえし積み上げます。（あまり高いと、重さで空気が入りにくい）
高さは、1m～1.5m、長さは、いくらでもよい。巾は 1.5m～1.8m ぐらい
ワラやコモで保湿し、乾燥を防ぎます。3週間で、第一回の切りかえし、甘
い黒ザトウの匂いがしたら成功。中は60℃以上に上昇しないとだめ、この時、
植物のセルロースが、分解して、ブドウ糖や果糖に変わるのです。空気の調節、
水分の調節が大変です、この甘いブドウ糖に、次に微生物が、発生します。こ
れが、タンパク質からなる有機物なのです。これぞ有機農業です。全体で、3
ヶ月かかります。オガクズ（木材）はリグニンを分解するため65℃以上が必要
です。

4. これを畑にまくわけです。一町歩（1ヘクタール）の畑というわけにはゆ
きませんネ。沢山つくれません。だから、多量に積まれている有機ヤサイを
見ると「ん？」と思うのです。土作りは、10アールあたり、毎年、めべりを
考えると、年、4～5トンが必要、10年かかって、すばらしい「土」になるの
です。堆肥の生産原料から考えて、広い面積ではできないので、生産高も少
ないものです。人口の集中する近くで、借家の収入とか、駐車場の収入など、
プールしないと生産する人の生活設計が出来ないわけです。

5. 動物糞、これは問題です。大型の養鶏場の鶏糞は消毒剤や抗生剤等を使用
しますので、堆肥が、発酵しません。ダメ。大型養豚場も、消毒剤、抗生剤
ですネ、醗酵しません。堆肥を作る動物糞をどこで手に入れるか考えてみま
しょう。20年前、薬用植物栽培の実験をした頃、私達も体験しました。よく
考えると、動物用の抗生剤が、糞にまぎっていたわけです。稲わらを堆肥の
原料にできないか？殆どできません。田園に農薬が残っているので、醗酵菌



が育たないのです。理解ができましたか？

6. よい食品は、少し高くついても、投資して、みんなで求め、作って下さる
方々を育てるべきです。作っているところの堆肥づくりを実際に行って確か
めるべきでしょう。土壌をテストする方法もあります。

7. まだあります。日本の食料自給率です。約40%を自給していますから、あ
との60%は輸入です。小麦、大豆、トウモロコシ。カナダ、アメリカからで
す。カボチャの一部は、ニュージーランドですヨ。小麦は日本で自給できま
せん。98%輸入です。さて今度は、輸送です。太平洋を船で運ばれます。虫
がわき、商品価値が下がり、殺虫剤をまく以外にありませんネ。これは毒ガ
スです。

日本に着き、保管倉庫に入れます、まず、消毒と殺虫です。毒ガスが全部
抜けるとよいのですが。これが小麦粉、パンの原料なのですネ。アレルギー
やアトピーの引きがねになるのでは？と疑われても仕方ありません。

マグロは、太平洋からきます。－23℃ぐらいで冷凍され、市場に出る頃は、
それでも、幾らか油が酸化をはじめています。過酸化脂質で、動脈硬化、シ
ミのひきがねです。魚油はよいですヨ、というのは近海でとれる、いわし、
さば等の新しいものなのです。

学校給食のパンはこうして多量に配られ日本人の少年少女達の健康の基礎
を造ってきたのです。アメリカから小麦を買わないといけないみたいですヨ。

8. ここまで書いてきますと、この日本列島に住むかぎり、添加物から逃れる
わけにゆきません。いかにして少なく、取り込むかを工夫しましょう。

(イ) 米づくりには少々農薬も使いますが、米食とのおかずが一番、添加
物を少なくとる手段です。

(ロ) よくかんで唾液をまぜること。唾液中の30種の酵素が、化学物質に対し
て解毒してくれる作用をもっています。

(ハ) 大量生産した袋物をさけること、
理由はお解りですネ。ひとつの化学物質だけをとりあげるのではなくて、
「複 合」なのです。何十種類もとり込んでいるわけですから。

各国の食料自給率
農水省(1997年)

米 国	132%
フランス	139%
ド イ ツ	97%
英 国	77%(70年代50%以下)
ス イ ス	59%(70年代50%以下)
日 本	39%

